



サーモスタットシャワー 混合栓

壁付タイプ 取扱説明書

このたびは、サーモスタットシャワー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

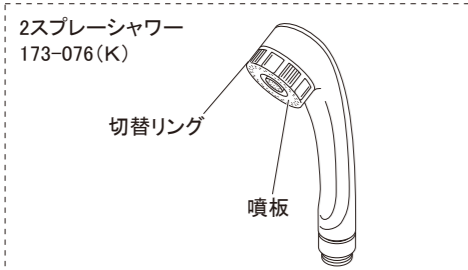
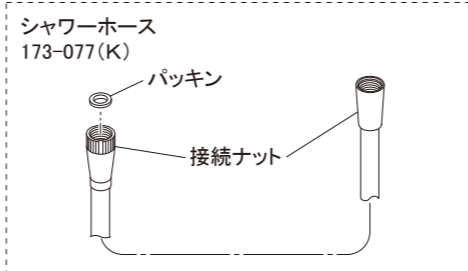
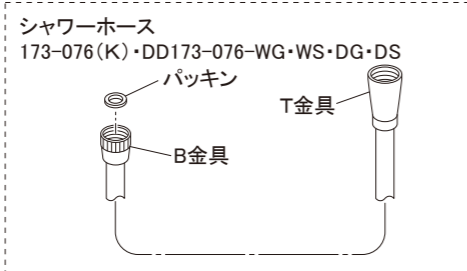
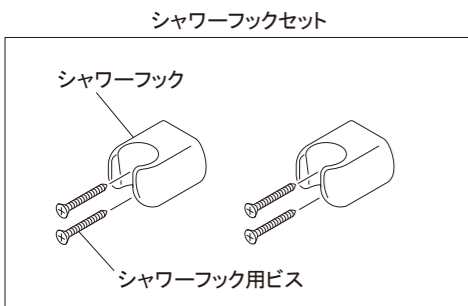
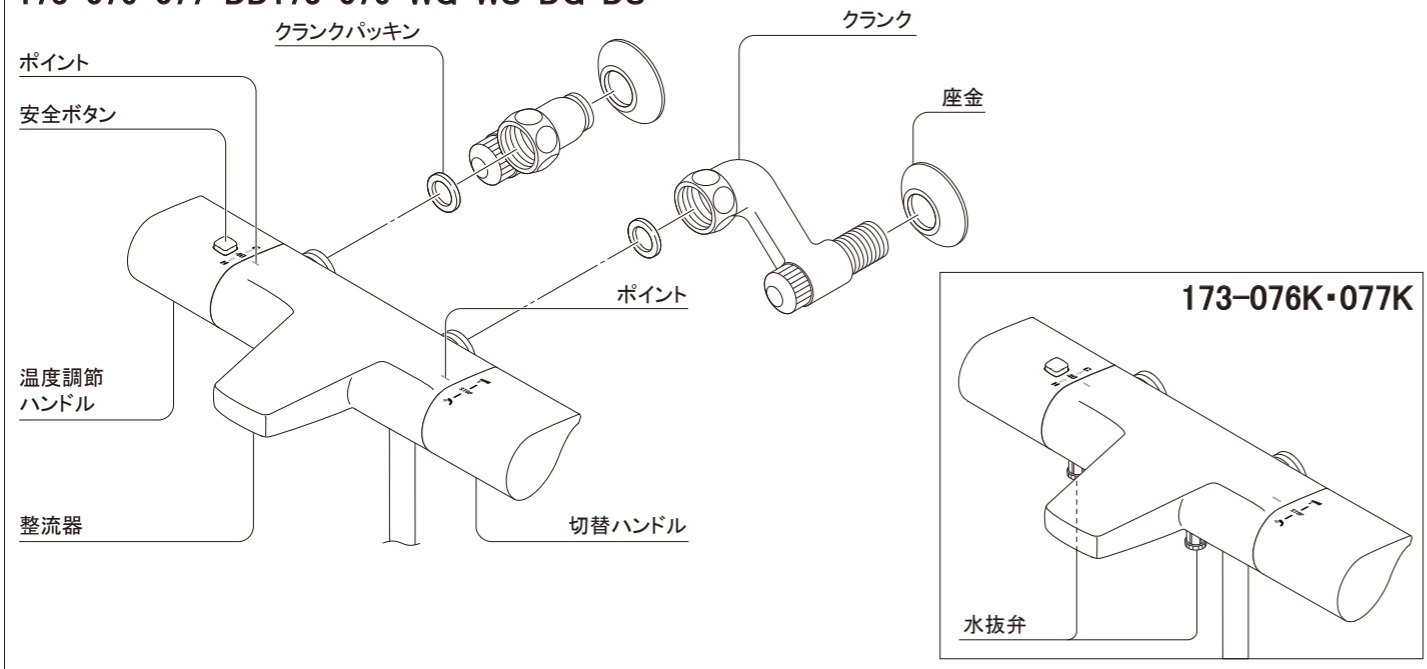
使用前に、この取扱説明書と別紙「安全上のご注意」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

製品同梱明細・各部のなまえ

* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

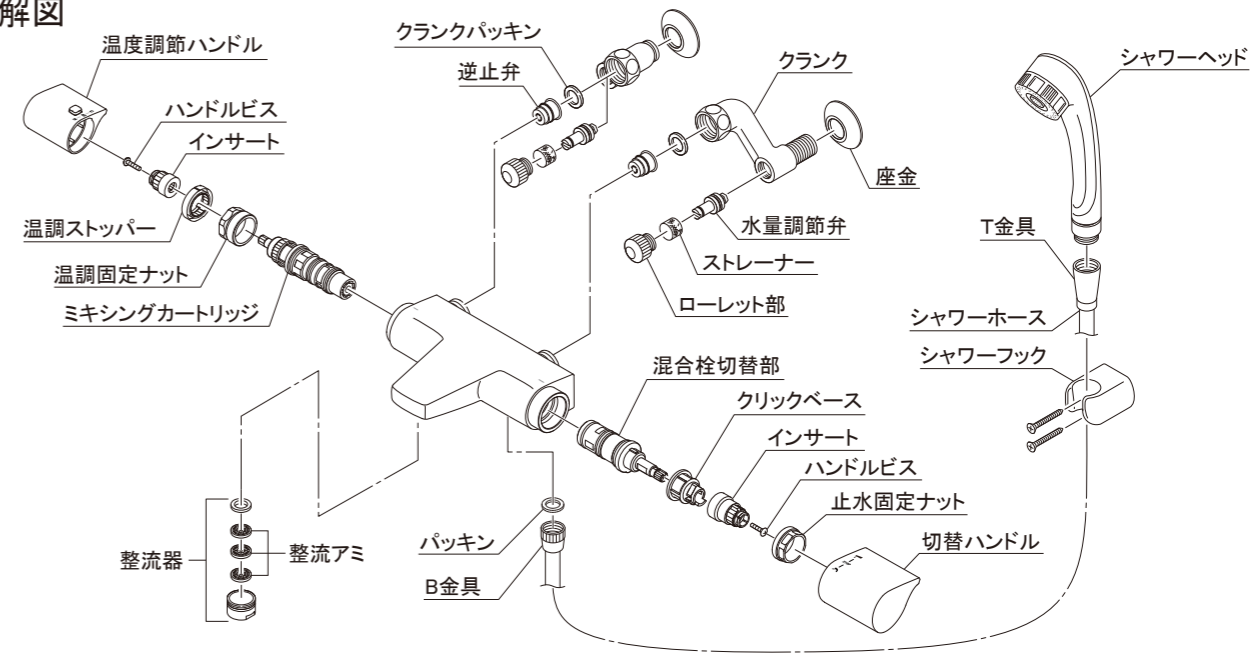
- * すべての品番に下記を同梱しています。
- 取扱説明書 ● 施工説明書 ● 安全上のご注意 ● 取扱シール ● 保証書

173-076・077・DD173-076-WG・WS・DG・DS



製品同梱明細・各部のなまえ(つづき) * 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

173-076分解図



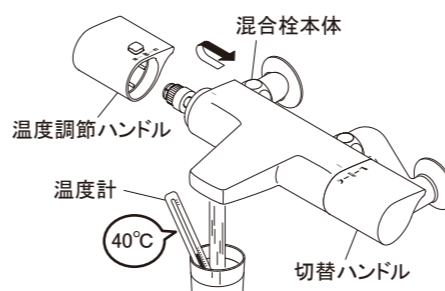
温度調整ハンドルの設定、ハンドルの使いかた

温度調節ハンドルを設定する

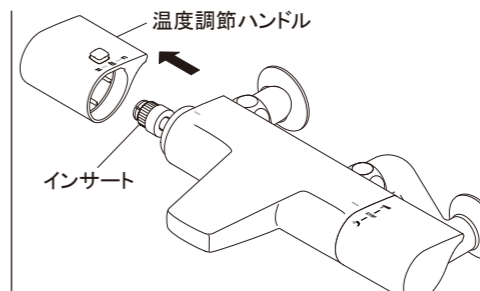
取付現場の状態によって目盛通りの吐水温度にならない場合は、下記の要領で調節を行ってください。

温度調節時の確認事項

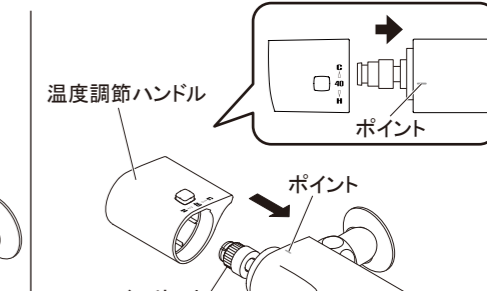
1. クランクの水量調節弁は開いていますか？
2. ストレーナーのゴミ詰まりはないですか？
3. 給湯温度は希望の吐水温度より高めに設定されていますか？



① 混合栓本体を押さえながら温度調節ハンドルを抜き取り、再度、軽くはめ込んでから切替ハンドルを吐水口側に開きます。温度計で測りながら、40°Cの湯が出る位置まで目盛数値に関係なく、ゆっくりと温度調節ハンドルをまわしていきます。



② 吐水温度が40°Cになりましたら、温度調節ハンドルがそれ以上まわらないように注意しながら、温度調節ハンドルを抜き取ります。



③ 温度調節ハンドルの「40°C」が混合栓本体の「ポイント」の表示に合うように温度調節ハンドルを混合栓本体にはめ込みます。
* 温度調節ハンドルをはめ込む際は、混合栓本体をしっかりと押さえてください。

湯(水)を出す・止める・温度を調節する



* 数字は吐水温度[摂氏(°C)]を示しています。

● 温度調節ハンドルを手前にまわすと「低温の湯または水」に、後ろにまわすと「高温の湯」になります。吐水温度を上げる場合、安全ボタンの働きにより42°C付近で一度ハンドルがロックされます。お望みの吐水温度がそれ以上の場合、安全ボタンを押してからハンドルをまわしてください。使用後は必ずハンドルをまわして、目盛を40°C以下に戻してください。

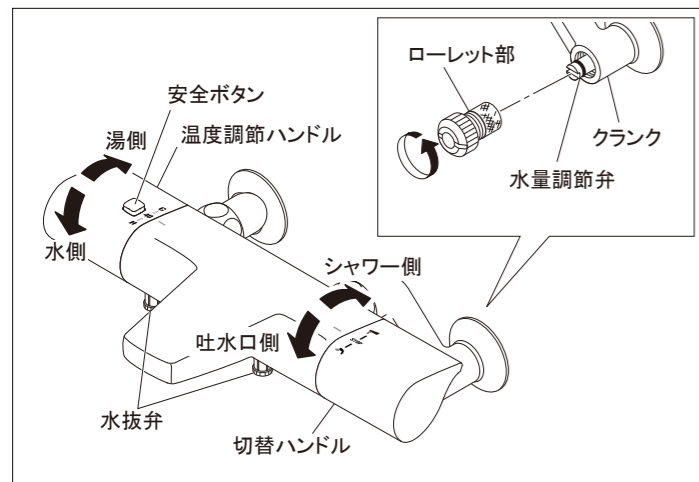


● 混合栓本体のポイントに切替ハンドルの「STOP」を合わせると止水します。止水時よりハンドルを手前にまわすと「吐水口より吐水」、後ろにまわすと「シャワーより吐水」します。

シャワーヘッドの使いかた、凍結予防のしかた

凍結を防ぐ(寒冷地用の水抜きのみ)

凍結の恐れがある場合は、使用後水抜きを行ってください。



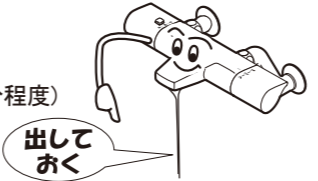
- ①配管の水抜き栓を操作して、水が出ないようにします。
- ②切替ハンドルを吐水口側にします。
- ③クランクからローレット部を湯・水側とも取外し、水を抜きます。混合栓本体下部にも水抜きがついていますので、ここも外して水抜きを行います。
* 水量調節弁が外れる場合があります。その時は、水量調節弁をローレット部に付けた状態で、元の位置に戻してください。
* 水抜きは水抜き以外の目的で開けないでください。
- ④安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを湯側いっぱいに戻して水を抜きます。
- ⑤吐水口から水が出なくなったら、水側いっぱいに戻して水を抜きます。
- ⑥吐水口から水が出なくなったら、切替ハンドルをシャワー側いっぱいに戻します。
- ⑦シャワーヘッドを下向きに、出来るだけ床近くまで下げ、ホース内の水を抜きます。
- ⑧シャワーヘッドを振り、中の水を抜きます。
* 水抜きが終わりしたら、必ず水抜きやローレット部を取付けてください。
* 水栓に解氷機は絶対に使用しないでください。

注意 湯側の水抜きをされる際は、混合栓本体やクランク、ローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。

凍結を防ぐ(一般地用の凍結予防のみ)

凍結の恐れがある場合は、下記内容の予防を行ってください。

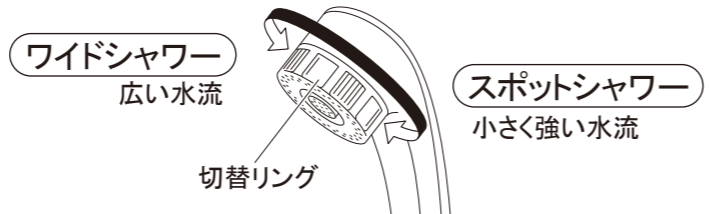
凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。
●配管を保温する。
●水栓から水を少量出しておく。
(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)



注意 凍結すると内部の部品が破損し、切替ハンドルを止水位置にしても、吐水口から水が漏れてくる恐れがありますので注意してください。
*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

2スプレーシャワーの使いかた 173-076(K)

切替リングをまわすと、お好みの水流をご使用になれます。



禁止 メッキ面のキズはそのまま放置しないでください。経年劣化、落下による衝撃、硬いものをあてた場合などにメッキ面にキズや割れが発生することがあります。メッキ面のキズやハガレで手をケガする恐れがありますのでキズや割れが発生した場合は、使用を中止するか、テープなどを巻き、応急処理をして早めに交換をしてください。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れ (いつまでも美しくご使用いただくために)

水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。

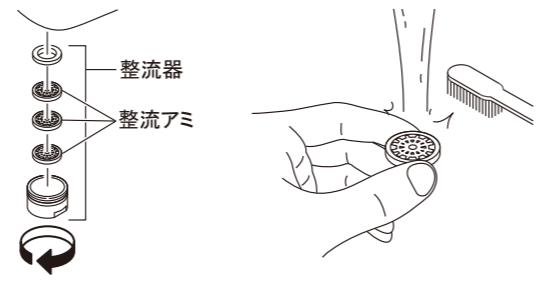
水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

注意 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

整流器・ストレーナーのお掃除 (水の出が悪くなったとき)

最初ご使用になっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、整流アミ・整流器・ストレーナーを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

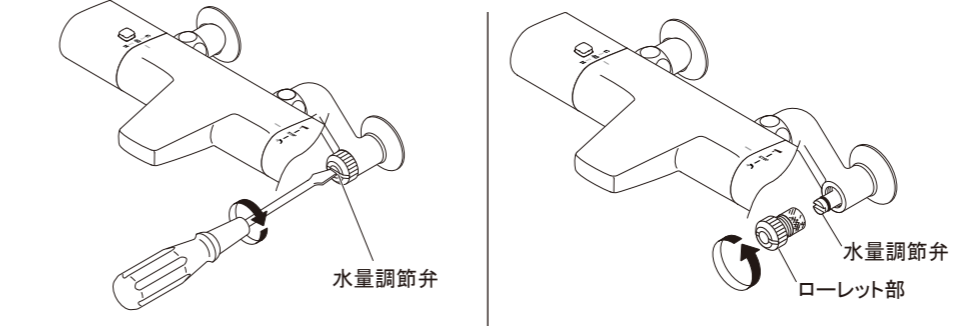
整流器のお掃除



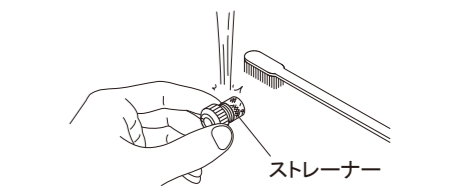
お手入れのしかた(つづき)

ストレーナーのお掃除

注意 ●ローレット部を取外す際は、クランクやローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。
●必ず水量調節弁をしっかりと締付けて作業を行ってください。湯水が出て、やけどや家財などを濡らす恐れがあります。



- ①水量調節弁を「マイナスドライバー」で湯・水側ともに締付けます。
*この時何周で止まったかを覚えておいてください。
- ②クランクのローレット部をまわして取外します。
*ローレット部を取外す際、水量調節弁が外れないように注意してください。



③ローレット部のストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシなどで軽く洗い流します。

注意 ストレーナーで指などをケガしないように注意してください。

④ストレーナーの掃除が終わりましたら、ローレット部を②の逆の手順で取付け、水量調節弁を覚えておいた回転数だけまわして元の位置まで開きます。

簡単な点検と対処のしかた

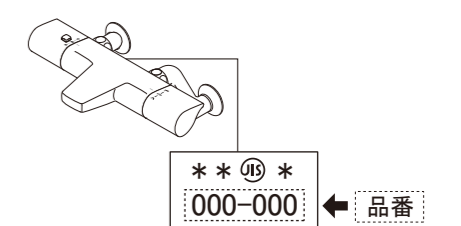
機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
温度調整不良	高温しか出ない	必要とする吐水温度より給湯温度が10℃以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する(別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください) ●水側の水量調節弁が閉まっている ●水側の水量調節弁を調節する ●水側のストレーナーが目詰まり ●ストレーナーのゴミを取除く ●ミキシングカートリッジにゴミが付着 ●ミキシングカートリッジのゴミを取除く ●ミキシングカートリッジの作動不良 ●ミキシングカートリッジを交換する ●水側の逆止弁が機能していない ●逆止弁を交換する
	低温しか出ない	必要とする吐水温度より給湯温度が10℃以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する(別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください) ●湯側の水量調節弁が閉まっている ●湯側の水量調節弁を調節する ●湯側のストレーナーが目詰まり ●ストレーナーのゴミを取除く ●ミキシングカートリッジにゴミが付着 ●ミキシングカートリッジのゴミを取除く ●ミキシングカートリッジの作動不良 ●ミキシングカートリッジを交換する ●湯側の逆止弁が機能していない ●逆止弁を交換する
目盛数値とお湯の温度が違う	目盛数値と吐水温度が違う場合は、 温度調整ハンドルの設定、ハンドルの使いかた を参照のうえ、調整を行ってください	
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の水量調節弁が閉まっている ●適正水量になるまで水量調節弁を開く ●湯・水側のストレーナーが目詰まり ●ストレーナーのゴミを取除く ●湯・水の水量に大きな差がある ●水量調節弁を調節する ●整流アミまたは整流器が目詰まり ●整流アミまたは整流器のゴミを取除く
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水の元バルブを開く ●湯・水側の水量調節弁が閉まっている ●適正水量になるまで水量調節弁を開く ●湯・水側のストレーナーが目詰まり ●ストレーナーのゴミを取除く ●逆止弁が機能していない ●逆止弁を交換する
止水不良	切替ハンドルをシャワー側にした時、吐水口の先端から漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷 ●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドルを吐水口側にした時、シャワーヘッドから漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷 ●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドルの止水位置で漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷 ●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドル部からの漏水	●混合栓切替部の締付けがゆるい ●止水固定ナットを締付ける ●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷 ●混合栓切替部を交換する

分解禁止 本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

修理を依頼されるときは

左記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。



(販売元) **atelier DADA 株式会社**
〒800-0217 福岡県北九州市小倉南区下曾根2丁目11-16
☎(093)967-8002

(製造元) **株式会社 カクダイ**
●水と住まいの接点